

○計画期間:令和5年4月～令和10年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

令和5年4月以降認定基本計画に基づき、「1. 魅力的な個店が集積し、新たな魅力の創出につながるチャレンジの支援・促進」「2. イベント開催や情報発信の強化によるにぎわいの創出」「3. 歩きやすさの向上・改善による回遊促進」の3つの方針のもと各事業を実施しており中心市街地の賑わいに取り組んでいるところである。

令和7年度の主な取組として、「志木市中心市街地活性化基本計画」に基づき新たなまちの魅力とにぎわいづくりに向け、志木街づくり株式会社を実施主体として、新たに創業したいと考える方を対象に営業訓練やマーケティングの場としてお試しで開業する場を提供する「チャレンジショップ事業」として、1号店が令和7年4月に、2号店が令和7年8月にオープンし、創業に向けた支援を実施しているところである。

そのほか、令和5年度から、まちなか回遊促進事業として、中心市街地エリア内の飲食店に参加を募り、中心市街地全域の飲食店を巡る「志木街バル」を実施しており、令和7年度は、前年度同様500セット分のチケットを発行するとともに、回遊性の向上を目的としてスタンプラリーを組み合わせ、中心市街地の人流の増加につなげる取組を実施したところである。

また、中心市街地エリアにおいて、空き店舗等の情報発信や発掘、さらに物件の貸し手と借り手のマッチングを行い、新規に創業する方への支援相談窓口として機能する「中心市街地新規出店支援センター」の令和7年度の実績は、相談件数が19件（新規相談）、11件（継続相談）、そこから新規創業に至ったのは2件であった。

また、センターで実施する創業スクールを年3回実施し、創業マインドの醸成を図るとともに、中心市街地におけるプレーヤーの発掘に努めている。

空き店舗対策については、令和5年度より中心市街地における、空き店舗への新規出店に対する活用事業補助金の補助率を上乗せしており、中心市街地エリア内で空き店舗の登録申請があった6件のうち4件が補助金を活用した出店につながった。

一方で、令和6年度から開始した中心市街地リノベーション事業補助金については、利用実績がなかった。

なお、建設スケジュールが変更となっていた、市民会館及び市民体育館の再整備事業については、従来の発注方法では、早期に工事着工ができない可能性が大きいことから、現在の設計見直しを含めたECI方式により、施工事業者の技術提案や協力のもと、工事の品質向上や効率化、コスト削減、さらには、事業スケジュールの短縮につなげることが望ましいという結論に至り、再整備に向けた準備を進め、「志木市新複合施設建設工事技術協力受託者選定公募型プロポーザル」を実施し、令和8年3月に事業者選定を行った。

## 【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

### (1) 居住人口

(基準日：毎年度1月1日)

| (中心市街地<br>区域) | 令和4年度<br>(計画前年度) | 令和5年度<br>(1年目) | 令和6年度<br>(2年目) | 令和7年度<br>(3年目) | 令和8年度<br>(4年目) | 令和9年度<br>(5年目) |
|---------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 人口            | 17,302           | 17,341         | 17,486         | 17,523         |                |                |
| 人口増減数         |                  | 39             | 145            | 37             |                |                |
| 自然増減数         |                  | ▲45            | ▲31            | ▲88            |                |                |
| 社会増減数         |                  | 92             | 167            | 95             |                |                |
| 転入者数          |                  | 1,145          | 1,163          | 995            |                |                |

※人口及び人口増減数は総合窓口課資料により確定しているものであるが、自然増減数・社会増減数は担当課に依頼した日で抽出するため、随時数字が変わることから、人口増減数＝自然増減数＋社会増減数とならない。

※令和7年度については、総合窓口課におけるシステム入替が行われ、従前使用していた根拠資料を出力できなくなったことから、市全体の人口増減数・自然増減数・社会増減数・転入者数に対して、中心市街地区域の人口が市全体の人口に占める割合を乗じて算出を行った。

## 2. 令和6年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度は協議会を2回開催した。協議会には志木街づくり株式会社代表や町内会関係者、市民活動団体関係者、市内金融機関代表者など様々な分野の方たちと意見を交わすなど、連携を図ることができた。

令和7年度第1回の協議会では、人事異動などにより新しく委員が変わるなど、まずは自己紹介からスタートし、令和6年度事業報告及び令和7年度事業計画の説明を、志木街づくり株式会社と志木市から報告を行った。

また、志木駅東口ペDESTリアンデッキを活用したにぎわいの創出を目的として、駅周辺に大型店舗を構える民間事業者と志木市が協力し、イベントを実施したが、令和7年度も引き続き実施予定である旨の報告を行った。

加えて、中心市街地活性化基本計画に位置付けている「商業環境の維持・推進事業の推進にかかる地区計画等の策定検討」について、中心市街地エリア内の商業地域（本町5丁目ユリノキ通りより南側から東武東上線まで）において、高度利用型地区計画の導入を検討している旨、都市計画課より説明を行い、協議会委員から高度利用型地区計画を導入することで、参入してくる業者はあるのか・人流はどの程度変えられるのかと言った意見をいただいた。

第2回の協議会では、志木市中心市街地活性化基本計画の変更の認定（令和7年度第2回）を受けるため、協議会に発議した。委員からは、今回の計画変更に位置付ける新規事業について詳細な説明を求められた以外は、特に意見はなかった。

その他の議題として、志木街づくり株式会社の令和6年度の事業報告について、中心市街地新規出店支援センターの相談・受付状況、チャレンジショップ事業の進捗状況、街なか回遊促進イベント「志木街バル」、創業支援事業などの各事業についての説明が行われたとともに、志木市中

心市街地活性化基本計画第２期計画の策定に係る説明が行われた。

委員からは、

①空き店舗バンクの活用状況はどうなっているか。引き続き空き店舗活用を推進していただきたい。

②令和７年度からオープンしたチャレンジショップの運営状況はどうか。商店会が活気を無くすと集客できなくなるため、引き続き対策を講じていただきたい。

③志木市中心市街地活性化基本計画第２期計画の策定にあたり、第１期計画での反省点等を織り込んだうえで進めていくと考えて良いか。  
などの意見が出た。

## Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 目標達成の見通し

| 目標                | 目標指標                          | 基準値                       | 目標値                | 最新値               | 基準値からの改善状況※1 | 目標達成に関する見通し※2 |        |
|-------------------|-------------------------------|---------------------------|--------------------|-------------------|--------------|---------------|--------|
|                   |                               |                           |                    |                   |              | 前回の見通し        | 今回の見通し |
| 活発な商業活動が行われる環境の形成 | 建築確認申請件数                      | 90 件<br>(H29～R3 合計)       | 90 件<br>(R5～R9 合計) | 9 件<br>(R5～R7 合計) | C            | C             | C      |
| 公共空間を活用しやすい環境づくり  | 公共空間における年間イベント実施団体数           | 4 団体<br>(R3)              | 10 団体<br>(R9)      | 13 団体<br>(R7)     | A            | A             | A      |
| 公共空間を活用しやすい環境づくり  | 【参考指標】<br>公共空間を活用したイベント等の来訪者数 | 160,000 人<br>(H29～R1 の平均) | 192,820 人<br>(R9)  | 289,914 人<br>(R7) | A            | A             | A      |
| 出歩きたくなる環境づくり      | 自転車・歩行者通行量                    | 37,835 人<br>(R4)          | 41,977 人<br>(R9)   | 39,846 人<br>(R7)  | B            | C             | B      |

< 基準値からの改善状況 (※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況 (※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類 (※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

### 2. 目標達成見通しの理由

「建築確認申請件数」については、今年度も目標値を達成する件数に届かず9件であった。志木市中心市街地新規出店支援センターでは、空き店舗等の情報発信や物件発掘、物件の貸し手と借り手のマッチングや、創業セミナーの開催、出店相談窓口の設置など、新規出店を支援しており、引き続き、同センターでの相談体制を強化し新規出店者への支援を充実させていく必要がある。また、中心市街地新築等事業補助金については2件の活用があった。税の優遇措置等も含め制度の周知を引き続き実施し、建築確認申請件数の向上を推進していく必要がある。

令和7年度からチャレンジショップ事業がスタートしており、中心市街地エリア内で新たに事業を開始したいと考える方を対象に、営業訓練やマーケティングの場として開設・提供し、市内での創業及び地域への定着を目標に、創業・運営に関する一体的なサポートを実施している。

「公共空間における年間イベント実施団体数」については、令和5年度の実績ですでに目標値をクリアしているところであるが、令和7年度に新たなイベントが開始されたことから前年と比較して増加し、13団体の実績となった。目標達成は今後も見込まれると思われる。

「【参考指標】公共空間を活用したイベント等の来訪者数」についても、令和5年度から以前と同規模程度に事業を実施しており、新型コロナ感染拡大前のイベント入込客数を超える数字となっている。

引き続き、「公共空間における年間イベント実施団体数」と「【参考指標】公共空間を活用したイベント等の来訪者数」増加のための事業を展開し目標達成を目指していく。

「自転車・歩行者通行量」については、志木駅周辺のNo.1～No.4を見ると、志木駅東口へと繋がるNo.2（市道1303号線）が最も通行量が多く、次いでNo.1（市道1301号線）、No.3（県道志木停車場線）、No.4（市道1096号線）となっており、一方で、全9地点の中で最も少ない通行量はNo.6（昭和通り小学校線）であり、令和5年度・令和6年度の調査と同じ結果であった。しかしながら、平日の調査においては、令和6年度には実施されていた近隣高校の入試が無かったことや、休日の調査においては、令和6年度と同様、中学生向けの模試が行われていたことなども影響していることから、継続的に自転車・歩行者通行量調査を実施していくことで、傾向を見定めていく。

令和8年度には、自転車・歩行者通行量の増加につながる新たな事業として、創業支援と地域コミュニティの活性化を目的とした「チャレンジスペース」事業や、子どもの居場所づくりや地域活性化等につなげる古民家再生事業などを実施予定であり、引き続き、空き店舗活用に係る補助制度などをPRしていくとともに、自転車・歩行者通行量の増加に向けた事業を継続し目標達成を目指していく。

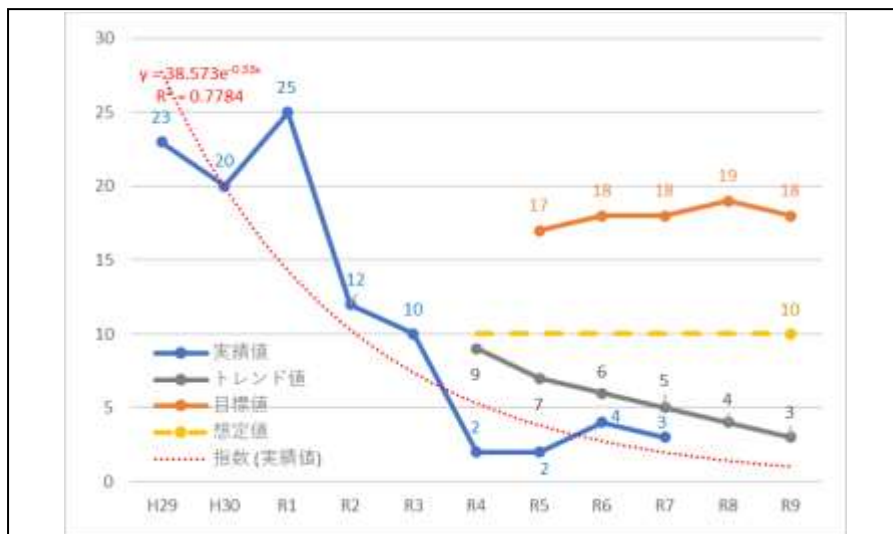
### 3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

目標の「出歩きたくなる環境づくり」について、目標達成の見通しを「C」としていたところであるが、これは主要な関連事業である新複合施設建設事業の中断等も考慮したものであった。しかしながら、**自転車・歩行者通行量**は令和7年度においても基準年である令和4年の数値を上回っていることに加え、年間イベント団体数及びイベント等の来訪者数は増加傾向にあること、「チャレンジスペース」事業や古民家再生事業の実施に向けた環境整備が進んでいることなどから、令和9年度末に向けて更なる**自転車・歩行者通行量の増加**を見込み、目標達成見通しを「B」とした。

#### 4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「建築確認申請件数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 5 2～P. 5 3 参照

##### ●調査結果と分析



| 年   | (単位) 件                        |
|-----|-------------------------------|
| R 4 | 9 0<br>(基準年値)<br>(H29～R3 の合計) |
| R 5 | 2                             |
| R 6 | 4                             |
| R 7 | 3                             |
| R 8 |                               |
| R 9 | 9 0<br>(目標値)<br>(R5～R9 の合計)   |

※調査方法：令和7年4月1日から令和8年3月31日までの期間に申請がされた建築確認申請件数

※調査月：令和8年3月

※調査主体：志木市

※調査対象：市内に建築確認申請がされたもののうち、中心市街地エリア（志木市本町1丁目から6丁目）を抽出したほか、事業による効果を考慮

##### 〈分析内容〉

令和7年度における本市の中心市街地エリア内の「商業系併用住宅」「事務所店舗」建築確認申請件数は、想定値の10件には届かず3件であった。

しかし、志木市中心市街地新規出店支援センターでは、空き店舗等の情報発信や物件発掘、物件の貸し手と借り手のマッチングや、創業セミナーの開催、出店相談窓口の設置など、新規出店を支援しており、今回の建築確認申請件数には直接結びついてはいないが、新規出店支援相談センターを通して、新たに中心市街地エリア内に2件出店するなど実績を残している。

##### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

###### ①. 中心市街地新規出店支援センターの整備・運営事業（まちづくり会社）

|                 |                                                                        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～【実施中】                                                            |
| 事業概要            | 空き店舗等の情報発信や物件発掘、物件の貸し手と借り手のマッチングや、創業塾などのセミナーの開催、出店相談窓口の設置など、新規出店を支援する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和5年4月～令和10年3月                                   |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | 【目標値】令和5年度より1件／年以上の創業支援を想定。<br>令和5～9年度で5件                              |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <p>【最新値】 9件（うち建築確認申請件数に至ったものは0件）</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>誰もが相談しやすいように、志木駅東口から近い商業ビルの一部を借り上げて、志木市中心市街地新規出店支援センターを令和5年8月7日に開設した。常時1人から2人体制で新規での出店や創業の相談を受けており、本人の希望や相談内容に応じて相談員でチームを編成し対応している。</p> <p>なお、令和7年度は新規出店支援センターの支援により、2件の新規出店の報告があった。</p> |
| 事業の今後について | <p>令和7年度の実績として、2件の新規出店が実績としてあることから、引き続き、創業につなげるための支援を行っていくとともに、相談体制も強化しながら、年1件以上の目標値をクリアしていく。</p> <p>センターの開館日数（年間：約240日）に対し、新規相談が11件であり、依然として日数に見合った相談数ではないことから、相談件数を増やすため、創業に関するセミナー開催等により、潜在的な創業希望者の発掘に取り組んでいく。</p>                                |

## ②. 個店魅力向上事業（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                                               |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和6年度～【未】                                                                                                                                                                                                     |
| 事業概要            | <p>市内商工業の振興を図るため、中心市街地内の既存店舗を対象に、店舗改修費用の一部を補助する。補助対象は、中心市街地の活性化に資するほか、志木市景観計画における「良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項」に合致していると認められるもので、中心市街地内で継続して事業を営むことを誓約できるもの等の要件を満たすものとする。</p>                                       |
| 国の支援措置名及び支援期間   | <p>中心市街地活性化ソフト事業（総務省）</p> <p>令和6年4月～令和10年3月</p>                                                                                                                                                               |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】 令和6年度より約2件／年程度を想定。</p> <p>令和6～9年度で8件</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>中心市街地内の既存店舗を対象に、志木市景観計画における「良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項」に合致した店舗改修費用の一部を補助する事業については、まずは景観計画の普及が必要であるという結果に至ったことから引き続き次年度以降へ見送りとなっている。</p> |
| 事業の今後について       | <p>上記の進捗状況から、令和8年度以降においても、まずは、令和5年度から実施している中心市街地エリア内の空き店舗家賃補助及び改装費補助の上乗せ分や、令和6年度から開始した中心市街地リノベーション事業補助金等の執行状況を踏まえながら、新たな補助制度として検討していくこととする。</p>                                                               |

③. 商業施設改修整備事業（まちづくり会社）

|                 |                                                                                                                                                                             |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和6年度～【実施中】                                                                                                                                                                 |
| 事業概要            | 地域住民や来街者が気軽に立ち寄れる日常的な交流の場を形成するため、マルシェやワークショップなどのイベントを開催する。<br>中心市街地エリア内の空き店舗や空きフロアを活用し、交流・創業支援の拠点として整備し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めることにより、飲食・交流・体験が融合した複合空間を創出することでイベントの効果を増進させる。 |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和8年4月～令和10年3月                                                                                                                                        |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | 【目標値】令和8年度を目途に1件整備予定。<br>＜進捗状況＞<br>まちづくり会社で、中心市街地エリア内の空き店舗を活用し、交流・創業支援の拠点となる「（仮称）いろは商店街チャレンジスペース」の令和8年度のオープンに向け、テナント募集等の準備を実施しているところである。                                    |
| 事業の今後について       | 令和8年度からの実施に向け、引き続き、まちづくり会社を中心となって、準備を進めていく。                                                                                                                                 |

④. 空き店舗活性化事業（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～令和9年度【実施中】                                                                                                                                                                                                                      |
| 事業概要            | 市内商工業の振興を図るため、市内の空き店舗を活用し、志木市で起業する事業主に対して、店舗の家賃補助又は改装費の補助に加え、住居、蔵等の建物を店舗等に改装（リノベーション）を行う場合の初期費用に掛かる整備費を補助し、空き店舗バンクを充実させることで、市の商工業の振興及び地元経済に元気と活気の創出をもたらす、創業者の着実な成長を促す。                                                                |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和5年4月～令和10年3月                                                                                                                                                                                                  |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | 【目標値】令和5年度より約4件／年程度を想定。令和5～9年度で20件。<br>【最新値】4件（うち建築確認申請に至ったものは0件）<br>＜進捗状況＞<br>令和7年度の空き店舗バンクへの新規登録申請件数は16件。うち、6件が中心市街地エリア内であった。<br>また、令和5年度より中心市街地における活用事業補助金の補助率を上乗せしたところであるが、令和7年度に空き店舗バンクを活用して契約に至った件数は10件で、うち4件が中心市街地エリア内の物件であった。 |

|                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                           | <p>なお、令和7年度については、中心市街地リノベーション事業補助金は申請がなかった。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事業の今後について                                 | <p>さらなる中心市街地エリア内の発展を図るため、中心市街地エリア内の空き店舗家賃補助及び改装費補助の上乗せ分のほか、中心市街地リノベーション事業補助金等を周知することで、目標を達成していく。</p>                                                                                                                                                                                                                        |
| ⑤. 空き店舗活用に関する融資利子補給措置（志木市）                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事業実施期間                                    | 令和5年度～令和9年度【末】                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 事業概要                                      | 中心市街地の空き店舗等を活用して新たに出店する事業に対し、市が利子補給を実施する。                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 国の支援措置名及び支援期間                             | 国の支援措置なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況                           | <p>【目標値】令和5年度より約4件／年程度を想定。令和5～9年度で20件。</p> <p>【最新値】0件</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>空き店舗を活用して中心市街地エリア内に新たに出店する事業者に対し利子補給を実施する事業については、空き店舗の活用をした事業にではなく、市の融資制度を活用（設備資金のみ）し、中心市街地エリア内に所在する事業所で事業を営む方が、1.75%相当額（実質無利子）を補給することとした。</p> <p>なお、上記の実質無利子に該当する融資申込件数は、令和6年度は1件、令和7年度は3件となった。</p> <p>※令和8年度の第2回の変更申請で事業名・事業概要の変更予定。</p> |
| 事業の今後について                                 | 市の融資制度を活用し中心市街地エリア内で事業行う事業者に対し、利子補給率を引き上げ、利子相当額（実質無利子）を補助することで、目標を達成する。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| ⑥. サテライトオフィス・コワーキングスペーススペースの運営事業（まちづくり会社） |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事業実施期間                                    | 令和5年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業概要                                      | 空き店舗を活用したサテライトオフィスやコワーキングスペースを整備・運営し、利用者の交流促進にともなう新たなビジネス創出を促進する。                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 国の支援措置名及び支援期間                             | 国の支援措置なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況                           | <p>【目標値】令和5年度を目途に1件整備予定。</p> <p>【最新値】1件（うち建築確認申請に至ったものは0件）</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>志木市中心市街地新規出店支援センターの一角に、コワーキングス</p>                                                                                                                                                                                                    |

|           |                                                             |
|-----------|-------------------------------------------------------------|
|           | ペースを1件（3室）整備し、そのうち1室が契約済であったが、年度途中で解約となった。                  |
| 事業の今後について | 現在は3室とも空きとなっており、まちづくり会社の収入源となるべきものであることから、契約を目指し引き続きPRしていく。 |

#### ⑦. 中小企業融資等制度（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～令和9年度【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 事業概要            | 市内の中小企業者の振興及び経営の円滑化を図るため、資金融資あっ旋を行うとともに、融資貸付の利子補給を行う。                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 国の支援措置なし                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】平成30年度から令和3年度までの実績件数（0件～1件／年）を考慮し、1件／年以上の制度活用を想定。令和5～9年度で5件。</p> <p>【最新値】3件（うち建築確認申請に至ったものは0件）</p> <p>＜進捗状況＞</p> <p>令和7年度の融資実行実績として、小規模企業者融資制度が3件、中小企業近代化資金融資制度が23件あった。</p> <p>そのうち中心市街地エリア内での実績が9件であった。</p> <p>なお、令和6年度から市の融資制度を活用（設備資金のみ）し、中心市街地エリア内に所在する事業所で事業を営む方が、1.75%相当額（実質無利子）を補給することとし、令和6年度は1件、令和7年度は3件が実質無利子の対象となった。</p> |
| 事業の今後について       | 引き続き、市の融資制度を活用し、中心市街地エリア内で事業を行う事業者に対し、借り入れた資金（設備資金）の利子相当額の一部を補助する利子補給率を引き上げることで、中心市街地における商工業に対する支援を行い、目標達成を目指す。                                                                                                                                                                                                                             |

#### ●目標達成の見通し及び今後の対策

【指標1】：建築確認申請件数（「商業系併用住宅」及び「事務所店舗」の合計）

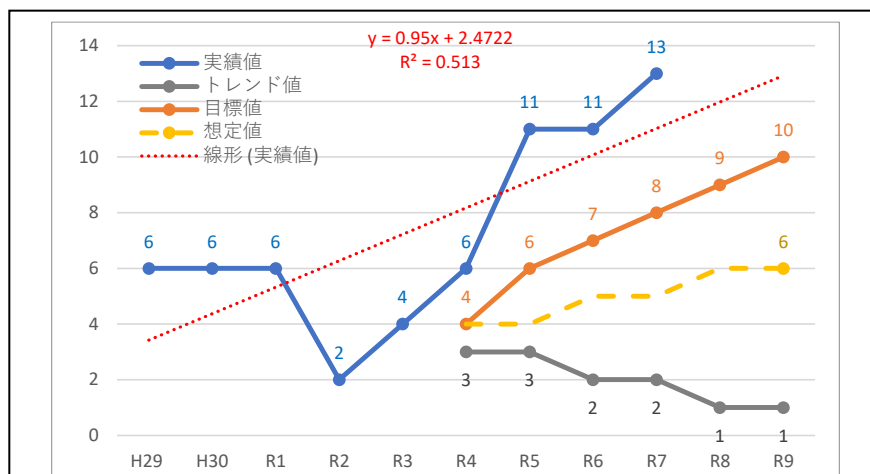
令和7年度における中心市街地エリア内の建築確認申請件数は47件となっており、そのうちの3件が「商業系併用住宅」及び「事務所店舗」という結果であり、想定値の10件には届かず、現状では目標達成が困難な状況が続いている。

今後においては、中心市街地エリア内のさらなる商工業の発展を図るため、志木街づくり株式会社が運営している中心市街地新規出店支援センターで、引き続き出店相談窓口の周知を行うことで、相談数を増やしていくほか、従来よりも裾野の広い創業セミナーの開催を検討し、本市での新規出店に対して興味を持つ方々の母数を増やしていくことで、目標達成に近づけていく。

## （２）「公共空間における年間イベント等実施団体数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 54～P. 57 参照

### ●調査結果と分析



| 年  | (単位) 団体      |
|----|--------------|
| R3 | 4<br>(基準年値)  |
| R5 | 1 1          |
| R6 | 1 1          |
| R7 | 1 3          |
| R8 |              |
| R9 | 1 0<br>(目標値) |

※調査方法：令和7年4月1日から令和8年3月31日までに、ペDESTリアンデッキのほか、公共空間（いろは親水公園、市役所前広場、道路空間など）を活用してイベントを実施した団体を調査

※調査月：令和8年3月

※調査主体：志木市

※調査対象：中心市街地エリア内において公共空間を活用したイベント実施団体数

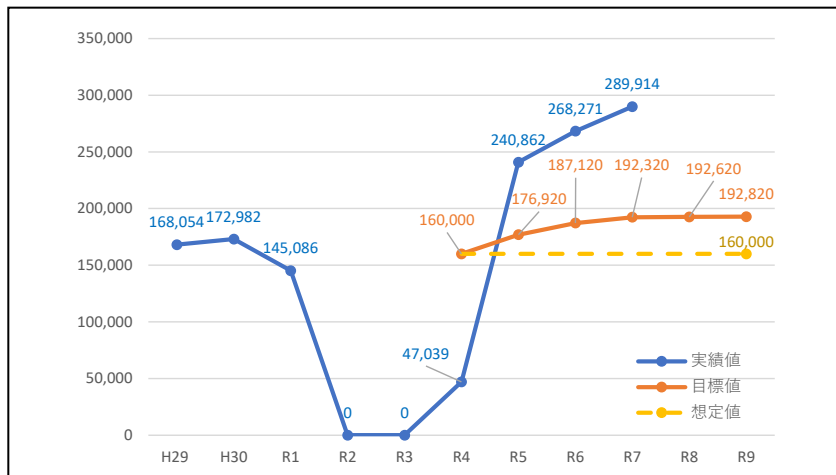
### 〈分析内容〉

令和7年度における「公共空間における年間イベント等実施団体数」は最終的に13団体であった。昨年度と比較して増加した。目標値はクリアしているので、現状維持である。

目標値達成の要因としては、昨年度に引き続き「志木街づくり株式会社」が主体となって、中心市街地エリア内の飲食店を巡るイベント「志木街バル」や、志木市商工会青年部による、志木駅東口ペDESTリアンデッキを活用した食フェスの開催、駅前の大型商業施設と提携したペDESTリアンデッキ上でのイベント開催に加え、「後世に残る志木市の目玉イベント実行委員会」による、光と音楽のイベント「シキリラ」が新たにいろは親水公園にて開催され、中心市街地エリアのにぎわいの創出につながっている。

## （２）－１【参考指標】「公共空間を活用したイベント等の来訪者数」

### ●調査結果と分析



| 年  | (単位) 人                           |
|----|----------------------------------|
| R4 | 160,000<br>(基準年値)<br>(H29～R1の平均) |
| R5 | 240,862                          |
| R6 | 268,271                          |
| R7 | 289,914                          |
| R8 |                                  |
| R9 | 192,820<br>(目標値)                 |

※調査方法：令和7年4月1日から令和8年3月31日までに、ペDESTリアンデッキのほか、公共空間（いろは親水公園、市役所前広場、道路空間など）を活用したイベント等の来訪者数を調査

※調査月：令和8年3月

※調査主体：志木市

※調査対象：中心市街地エリア内において公共空間を活用したイベント等の来訪者数

#### 〈分析内容〉

「公共空間を活用したイベント等の来訪者数」の増加に向けた各事業については、概ね予定どおり完了した。

令和7年度における「公共空間を活用したイベント等の来訪者数」は、289,984人であった。基準値は、平成29年から令和元年までの主要イベントの平均来訪者数160,000人を設定し、最終目標値は、事業による効果も考慮して192,820人としたところであるが、令和5年度の結果において、すでに目標値を達成したところである。

目標達成した大きな要因として、本市の主なイベントである「志木市民まつり」「さくらフェスタ」の来訪者が、昨年度に引き続き、大きく基準値を上回っており、そのほか、いろは親水公園の指定管理者が実施しているイベント（いろはプレーパーク・ウォーターパーク）も好評であることに加え、新たなイベントとしていろは親水公園にて「シキリラ」が開催されるなどしており、市内外から多くの人々が訪れたのではないかと推測している。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. にぎわい形成に資するイベント等の開催に関する、道路等の公共空間の活用事業（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和6年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 事業概要            | 道路等の公共空間を活用したイベント等の開催に関し、必要なルール等を検討するとともに、制度化する。道路占用特例区域は、ペDESTリアンデッキでの指定を先行し、順次、範囲の拡大に取り組む。                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 道路の占用の特例（国土交通省）<br>令和6年度～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】ペDESTリアンデッキを中心にまちづくり会社が主体となり、令和5年度から毎年イベントを開催する想定。令和5～9年度で1団体／年。</p> <p>また、商店会や新たな団体が主体となり、ペDESTリアンデッキやその他公共空間（いろは親水公園、市役所前広場、ポケットパーク、道路空間等）の活用を図る。令和7～8年度は1団体／年、令和9年度で2団体／年。</p> <p>【最新値】3団体（ペDESTリアンデッキ）<br/>0団体（道路空間）</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>令和7年度に「志木駅東口ペDESTリアンデッキ改修基本設計」を業務委託し、志木駅東口ペDESTリアンデッキの改修における景観デザイン及び構造等の検討を実施した。</p> |
| 事業の今後について       | 令和6年度の「利活用基本構想」、令和7年度の「改修基本設計」に基づき、ペDESTリアンデッキの施設改修や具体的な活用方法について検討を進め、実施設計及び改修に向けた準備を実施していく。                                                                                                                                                                                                                                                     |

②. ペDESTリアンデッキ活用及び改修検討事業（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～【実施中】                                                                                                                                                                      |
| 事業概要            | ペDESTリアンデッキを憩い・交流の場とするとともに、中心市街地への人の誘導を行う新たなポイントとして活用するため、地元町内会や関係団体と意見交換を踏まえ、景観デザインや構造等の検討、今後の改修に向けた事業に必要な詳細調査を行うものである。本調査の結果を活用し、「ペDESTリアンデッキのリニューアル事業」にて、ペDESTリアンデッキの改修を実施する。 |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和5年4月～令和8年3月                                                                                                                                              |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】ペDESTリアンデッキを中心にまちづくり会社が主体となり、令和5年度から毎年イベントを開催する想定。令和5～9年度で1団体／年。</p> <p>また、商店会や新たな団体が主体となり、ペDESTリアンデッキや</p>                                                              |

|           |                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <p>その他公共空間（いろは親水公園、市役所前広場、ポケットパーク、道路空間等）の活用を図る。令和7～8年度は1団体／年、令和9年度で2団体／年。</p> <p>【最新値】3団体（ペDESTリアンデッキ）<br/>0団体（道路空間）</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>令和7年度に「志木駅東口ペDESTリアンデッキ改修基本設計」を業務委託し、志木駅東口ペDESTリアンデッキの改修における景観デザイン及び構造等の検討を実施した。</p> |
| 事業の今後について | <p>令和6年度の「利活用基本構想」、令和7年度の「改修基本設計」に基づき、ペDESTリアンデッキの施設改修や具体的な活用方法について検討を進め、実施設計及び改修に向けた準備を実施していく。</p>                                                                                                                                  |

### ③. 旧村山快哉堂活用事業（市民団体）

|                 |                                                                                                                                                                                       |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～【実施中】                                                                                                                                                                           |
| 事業概要            | <p>いろは親水公園内にある旧村山快哉堂を利用した事業を展開する。</p> <p>内容は、ひなのつるし飾り、端午のつるし飾り、蔵で聴くコンサートなどを開催する。</p>                                                                                                  |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 国の支援措置なし                                                                                                                                                                              |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】市民団体が主体となり、ひなのつるし飾り、端午のつるし飾り、蔵で聴くコンサートなどのイベントを実施。令和5～9年度で1団体／年。</p> <p>【最新値】1団体／年（令和7年度イベント実施団体数）</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>伝統的建造物旧村山快哉堂について、市民団体が主体となって、案内・活用事業を実施している。</p> |
| 事業の今後について       | <p>引き続き、ボランティア団体といろは親水公園の指定管理者が連携し、伝統的建造物旧村山快哉堂を活用したイベントを開催し、いろは親水公園をにぎわいの場としていく。</p>                                                                                                 |

### ④. まちなかオープンマルシェ事業（まちづくり会社）

|               |                                                                                                                                                    |
|---------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間        | 令和6年度～【未】                                                                                                                                          |
| 事業概要          | <p>中心市街地にあるペDESTリアンデッキや歩行空間、広場等の公共空地を対象に、仮設店舗の設置によるマルシェを開催する。マルシェは、既存店舗のアンテナショップとして、また、新規創業を目指す方のチャレンジショップとして活用するとともに、利用者をまちなかへ誘引していくことを目的とする。</p> |
| 国の支援措置名及び支援期間 | <p>中心市街地活性化ソフト事業（総務省）</p> <p>令和6年4月～令和10年3月</p>                                                                                                    |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】ペDESTロリアンデッキにてまちづくり会社が主体となり、令和6年度から仮設店舗の設置によるマルシェを開催する。令和6年度は1店舗、令和7年度は2店舗、令和8年度は3店舗の設置を予定し、令和8年度時点で来客数30,000人/年と想定。令和9年時点の来客数30,000人/年。</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>本事業は、当初令和5年度から開始予定の事業として計画していたが、ペDESTロリアンデッキの改修工事を含め、再度検討した結果、事業を1年先送りし、令和6年度開始事業に計画変更（令和5年8月30日変更認定済）したところである。</p> <p>なお、本事業は、基本計画の第4章に掲載した「ペDESTロリアンデッキ活用及び改修検討事業」と連動しており、まずはこの事業を優先して進めた後、まちなかオープンマルシェ事業の実施に向けて着手していく。</p> |
| 事業の今後について       | 今後、ペDESTロリアンデッキの改修工事を進め、憩い・交流の場として新たな拠点となるよう整備したうえで、本事業を展開していく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

#### ⑤. まちなかオープンマルシェ事業【再掲】（まちづくり会社）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和6年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 事業概要            | <p>中心市街地にあるペDESTロリアンデッキや歩行空間、広場等の公共空地を対象に、仮設店舗の設置によるマルシェを開催する。マルシェは、既存店舗のアンテナショップとして、また、新規創業を目指す方のチャレンジショップとして活用するとともに、利用者をまちなかへ誘引していくことを目的とする。</p>                                                                                                                                                                                                                |
| 国の支援措置名及び支援期間   | <p>中心市街地活性化ソフト事業（総務省）</p> <p>令和6年4月～令和10年3月</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】民間が主体となり、いろは親水公園、市役所前広場、ポケットパーク、道路空間等の公共空間の活用を図る。令和6年度から徐々に活用回数が増加し、令和9年度には月1回程度の頻度での活用されることを想定。令和9年度の来訪者数1,200人/年。</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>本事業は、当初令和5年度から開始予定の事業として計画していたが、ペDESTロリアンデッキの改修工事を含め、再度検討した結果、事業を1年先送りし、令和6年度開始事業に計画変更（令和5年8月30日変更認定済）したところである。</p> <p>なお、本事業は、基本計画の第4章に掲載した「ペDESTロリアンデッキ活用及び改修検討事業」と連動しており、まずはこの事業を優先しており、実績としてはなしである。</p> |
| 事業の今後について       | 今後、ペDESTロリアンデッキの改修工事を進め、憩い・交流の場と                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |

|                                   |                                                                                                                                                                                                                        |
|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| いて                                | して新たな拠点となるよう整備したうえで、併せて事業を実施していく。                                                                                                                                                                                      |
| <b>⑥. まちなか回遊促進イベント事業（まちづくり会社）</b> |                                                                                                                                                                                                                        |
| 事業実施期間                            | 令和５年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                            |
| 事業概要                              | 中心市街地全体の回遊性を向上させるため、各商店会が連携し、来街者に飲食・買い物・サービス等を楽しみながら巡っていただく「まちバル」を開催（１回／年）する。                                                                                                                                          |
| 国の支援措置名及び支援期間                     | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和５年４月～令和１０年３月                                                                                                                                                                                   |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況                   | 【目標値】各商店会が連携し、中心市街地内の回遊促進に向けた「まちバル」を開催（１回／年）。令和９年時点の来客数１，５００人／年。<br>【最新値】４３０人／年<br>＜進捗状況＞<br>令和８年１月２６日から３，０００円分の街バルチケットを２，０００円で販売し、発行した５００セットのうち４３０セットを売り上げた。開催期間は令和８年２月１０日から令和８年２月２８日までとなっており、中心市街地エリア内の飲食店が２２店舗参加した。 |
| 事業の今後について                         | これまでの実績を踏まえ、令和７年度は５００セットの発行となったが、より多くの方にご利用いただけるよう、販売数の増加と合わせて、事業の更なる周知を図っていくほか、中心市街地エリア内のまちバル参加店舗を増やし、令和９年時点の来客数１，５００人を目指していく。                                                                                        |
| <b>⑦. 旧村山快哉堂活用事業【再掲】（市民団体）</b>    |                                                                                                                                                                                                                        |
| 事業実施期間                            | 令和５年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                            |
| 事業概要                              | いろは親水公園内にある旧村山快哉堂を利用した事業を展開する。内容は、ひなのつるし飾り、端午のつるし飾り、蔵で聴くコンサートなどを開催する。                                                                                                                                                  |
| 国の支援措置名及び支援期間                     | 国の支援措置なし                                                                                                                                                                                                               |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況                   | 【目標値】市民団体が主体となり、ひなのつるし飾り、端午のつるし飾り、蔵で聴くコンサートなどのイベントを実施。令和９年の来訪者数１２０人／年。<br>【最新値】１１，６８６人／年（令和７年度イベント来訪者数）<br>＜進捗状況＞<br>伝統的建造物旧村山快哉堂について、市民団体が主体となって、案内・活用事業を実施しているところである。                                                |
| 事業の今後につ                           | 引き続き、市民団体といろは親水公園の指定管理者が連携し、伝統                                                                                                                                                                                         |

いて

的建造物旧村山快哉堂を活用したイベントを開催し、いろは親水公園をにぎわいの場としていく。

## ●目標達成の見通し及び今後の対策

【指標２】：公共空間における年間イベント等実施団体数

参考指標：公共空間を活用したイベント等の来訪者数

主要事業は、令和５年度から既にコロナ以前の平均値を超えている状況であり順調である。現在の取組を継続すれば、目標達成は可能だと思われる。

また、参考指標であるイベント等の来訪者数については、既に令和９年度の目標値を達成していることから、引き続き、来訪者数をさらに伸ばしていけるよう施策を展開していく。

年間イベント等実施団体数についても、順調に増加している。中心市街地エリア内のペDESTリアンデッキやグランドテラス（市役所前広場）、いろは親水公園などの公共空間におけるイベントが増えることで、新たな団体によるイベント実施の検討を促すことにつながるよう、市のSNSに情報発信などを積極的に行い、イベントの周知等を図っていく。

今年度は、いろは親水公園にて新たなイベント「シキリラ」が開催されたことに加え、ペDESTリアンデッキでも新たな団体がイベントを開催しており、中心市街地エリア内のにぎわいの創出につながった。

（３）「自転車・歩行者通行量」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 58～P. 59 参照

## ●調査結果と分析

【R7 平日・休日の平均通行量】

| No. | 平日     |        |        | 休日     |        |        | 平日・休日の平均 |        |        |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|
|     | 歩行者    | 自転車    | 合計     | 歩行者    | 自転車    | 合計     | 歩行者      | 自転車    | 合計     |
| 1   | 5,745  | 1,490  | 7,235  | 6,247  | 1,125  | 7,372  | 5,996    | 1,308  | 7,304  |
| 2   | 6,391  | 2,611  | 9,002  | 5,665  | 1,715  | 7,380  | 6,028    | 2,163  | 8,191  |
| 3   | 3,110  | 1,614  | 4,724  | 2,613  | 1,122  | 3,735  | 2,862    | 1,368  | 4,230  |
| 4   | 1,181  | 895    | 2,076  | 1,142  | 619    | 1,761  | 1,162    | 757    | 1,919  |
| 5   | 1,363  | 1,598  | 2,961  | 1,875  | 1,195  | 3,070  | 1,619    | 1,397  | 3,016  |
| 6   | 799    | 424    | 1,223  | 435    | 309    | 744    | 617      | 367    | 984    |
| 7   | 1,883  | 3,439  | 5,322  | 2,412  | 2,279  | 4,691  | 2,148    | 2,859  | 5,007  |
| 8   | 1,431  | 3,534  | 4,965  | 1,311  | 2,030  | 3,341  | 1,371    | 2,782  | 4,153  |
| 9   | 2,252  | 3,943  | 6,195  | 1,597  | 2,291  | 3,888  | 1,925    | 3,117  | 5,042  |
| 合計  | 24,155 | 19,548 | 43,703 | 23,297 | 12,685 | 35,982 | 23,728   | 16,118 | 39,846 |

| 年  | (単位) 人           |
|----|------------------|
| R4 | 37,835<br>(基準年値) |
| R5 | 38,621           |
| R6 | 40,153           |
| R7 | 39,846           |
| R8 |                  |
| R9 | 41,977<br>(目標値)  |

※調査方法：調査地点（９地点）において、方向別、種類別に目前を通過する歩行者・自転車通行者を数取器（カウンター）を用いて観測し、１時間毎に調査表に数値を記録した。

平日調査：令和８年１月２７日（火）７時～１９時（１２時間）

休日調査：令和８年１月２５日（日）７時～１９時（１２時間）

※調査月：令和８年１月

※調査主体：志木市

※調査対象：中心市街地内９地点において歩行者及び自転車の通行量

## 調査地点図



(単位：人)

|       | 令和4年度<br>(計画前年度) | 令和5年度<br>(1年目) | 令和6年度<br>(2年目) | 令和7年度<br>(3年目) | 令和8年度<br>(4年目) | 令和9年度<br>(5年目) |
|-------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| No. 1 | 6, 647           | 6, 539         | 6, 675         | 7, 304         |                |                |
| No. 2 | 7, 592           | 7, 718         | 7, 993         | 8, 191         |                |                |
| No. 3 | 4, 006           | 3, 827         | 4, 362         | 4, 230         |                |                |
| No. 4 | 2, 257           | 2, 345         | 2, 171         | 1, 919         |                |                |
| No. 5 | 2, 205           | 2, 261         | 3, 198         | 3, 016         |                |                |
| No. 6 | 1, 191           | 1, 086         | 1, 162         | 984            |                |                |
| No. 7 | 4, 890           | 4, 803         | 5, 619         | 5, 007         |                |                |
| No. 8 | 4, 259           | 4, 286         | 4, 086         | 4, 153         |                |                |
| No. 9 | 4, 788           | 5, 756         | 4, 887         | 5, 042         |                |                |
| 合計    | 37, 835          | 38, 621        | 40, 153        | 39, 846        |                |                |

### 〈分析内容〉

自転車・歩行者通行量の増加に向けた各事業のうち、入札参加者からの辞退の申し出があったことなどから、建設スケジュールが変更となっていた市民会館及び市民体育館の再整備事業については、現在の設計見直しを含めた ECI 方式により、再整備に向けた準備を進めている。

また、令和7年度の自転車・歩行者通行量調査では、平日・休日の平均通行量が最も多い地点は、志木駅周辺では、No.1、No.2、No.3地点であった。特に、志木駅東口へとつながるNo.2（市道1303号線）が最も多く、次いでNo.1（1301号線）、No.3（県道志木停車場線）という結果であった。

なお、埼玉県により整備が進められているNo.3（県道志木停車場線）地点は、志木駅東口につながる最も中心道路となっており、道路環境が1番整備されているものの、引き続き、No.1、No.2と比較して通行量が少ない結果となっている。

しかし、平均通行量は、昨年度と比較するとわずかに減少しているが、令和6年度の調査時に近隣学校にて入試が行われており、令和7年度には入試が無かったことが影響したものと推察され、一概に通行量が減少傾向にあるとは言えないため、自転車・歩行者通行量の増加に向けた事業を継続し、状況を注視していく。

## ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

### ①. 市民会館及び市民体育館の再整備（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 事業概要            | 老朽化が進行し、耐震性能が不足している市民会館および市民体育館について、快適で使いやすく、災害時における拠点施設としての機能を持ち合わせた施設とするため、再整備を行う。                                                                                                                                                                                                        |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 公共施設等適正管理推進事業債（総務省）<br>令和5年度～                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | 【目標値】再整備にて中心市街地外から集約整備する市民体育館分の利用者を加算。令和2年度の利用者実績612人／日に対し、第6回東京都市圏パーソントリップ調査における歩行者・自転車の集中量トリップ割合52%を乗じて設定。令和8～9年で各年318人／日、計636人／日。<br>【最新値】工事着工はこれからの事業であり、目標値についても、令和8年からとしているため、最新値としての実績はなし。<br>＜進捗状況＞<br>令和6年度に建設事業スケジュールを再構築し、令和7年度に施工事業者選定のための条件整理、公募要項等の作成等を行い、ECI方式による発注をすることとした。 |
| 事業の今後について       | 令和7年度：施工事業者選定のための条件整理、公募要項等の作成、ECI方式による事業者選定<br>令和8年度：ECI方式による設計の見直し等の検討<br>令和9年度：建設工事着手                                                                                                                                                                                                    |

### ②. 新たな児童センターの整備事業（志木市）

|        |                                |
|--------|--------------------------------|
| 事業実施期間 | 令和5年度～【実施中】                    |
| 事業概要   | 再整備を行う市民会館及び市民体育館の隣接地を対象に、子どもた |

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                 | ちが自由に遊んだり、くつろいだりすることができ、年齢の異なる子ども同士と一緒に過ごすことができる地域の拠点を整備する。                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）<br>令和6年度～                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】市内類似施設（志木市児童センター）の1日あたり平均利用者数を参考に設定。令和9年に24人／日。</p> <p>【最新値】児童センターの整備についてはこれからの事業であり、目標値は令和9年としているため、最新値としての実績はなし。</p> <p>＜進捗状況＞</p> <p>新たな児童センターは、市民会館・市民体育館新複合施設と連携を図りながら運営することを基本としており、令和8年度中の竣工に向け事業を進めていたが、市民会館・市民体育館新複合施設の建設工事について、昨今の建設業界等における人手不足、半導体関連の工場等の受注の増加、働き方改革における労働時間の上限などの理由により、入札参加者からの辞退の申し出があったことから、建設スケジュールの見直しを行った。</p> |
| 事業の今後について       | 引き続き、新複合施設の建設スケジュールと調整を図りながら、建設事業の実施時期について見極めていく。                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |

### ③. 商業施設改修整備事業【再掲】（まちづくり会社）

|                 |                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和6年度～令和8年度【実施中】                                                                                                                                                                                 |
| 事業概要            | <p>本事業は、地域住民や来街者が気軽に立ち寄れる日常的な交流の場を形成するため、マルシェやワークショップなどのイベントを開催するものである。</p> <p>中心市街地エリア内の空き店舗や空きフロアを活用し、交流・創業支援の拠点として整備し、集客力の高い飲食店や小売店舗の再誘致を進めることにより、飲食・交流・体験が融合した複合空間を創出することでイベントの効果を増進させる。</p> |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和8年4月～令和10年3月                                                                                                                                                             |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>【目標値】令和8年度を目途に1件整備予定。</p> <p>＜進捗状況＞</p> <p>まちづくり会社で、中心市街地エリア内の空き店舗を活用し、交流・創業支援の拠点となる「（仮称）いろは商店街チャレンジスペース」の令和8年度のオープンに向け、テナント募集等の準備を実施しているところである。</p>                                          |
| 事業の今後について       | 令和8年度からの実施に向け、引き続き、まちづくり会社を中心となって、準備を進めていく。                                                                                                                                                      |

④. 中心市街地新規出店支援センターの整備・運営事業【再掲】（まちづくり会社）

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～【実施中】                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 事業概要            | 空き店舗等の情報発信や物件発掘、物件の貸し手と借り手のマッチングや、創業塾などのセミナーの開催、出店相談窓口の設置など、新規出店を支援する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和5年4月～令和10年3月                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>空き店舗活性化事業と合わせての目標値・最新値</p> <p>【目標値】目標①で新設を想定する店舗数に対し、想定床面積を50㎡/店舗とし、「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」より店舗面積当たり日來客数原単位を用い、来客数を設定。令和5～9年度で計4,021人</p> <p>【最新値】164人/日</p> <p>※<math>R7:3\text{件} \times 50\text{㎡} = 150\text{㎡}</math> <math>150\text{㎡} \div 1000\text{㎡} = 0.15</math></p> <p>人口40万人未満：<math>1,100 - 30 \times 0.15(S) = 1,095.5</math>（人/日/㎡）</p> <p><math>150\text{㎡} \times 1,095.5</math>（人/日/㎡）<math>\div 1,000 = 164</math>人</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>誰もが相談しやすいように、志木駅東口から近い商業ビルの一角を借り上げて、志木市中心市街地新規出店支援センターを令和5年8月7日に開設した。</p> <p>本センターでは随時、出店や創業の相談を受けており、本人の希望や相談内容に応じて相談員でチームを編成し対応している。</p> |
| 事業の今後について       | 引き続き、目標①の達成に向け、各種事業の展開により建築確認申請件数の向上を図り、目標値達成を目指す。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |

⑤. 空き店舗活性化事業【再掲】（志木市）

|                 |                                                                                                                                                                        |
|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業実施期間          | 令和5年度～令和9年度【実施中】                                                                                                                                                       |
| 事業概要            | 市内商工業の振興を図るため、市内の空き店舗を活用し、志木市で起業する事業主に対して、店舗の家賃補助又は改装費の補助に加え、住居、蔵等の建物を店舗等に改装（リノベーション）を行う場合の初期費用に掛かる整備費を補助し、空き店舗バンクを充実させることで、市の商工業の振興及び地元経済に元気と活気の創出をもたらす、創業者の着実な成長を促す。 |
| 国の支援措置名及び支援期間   | 中心市街地活性化ソフト事業（総務省）<br>令和5年4月～令和10年3月                                                                                                                                   |
| 事業目標値・最新値及び進捗状況 | <p>中心市街地新規出店支援センターの整備・運営事業と合わせての目標値・最新値</p> <p>【目標値】目標①で新設を想定する店舗数に対し、想定床面積を50㎡/店舗とし、「大規模小売店舗を設置する者が配慮すべき事項に関する指針」より店舗面積当たり日來客数原単位を用い、来客数</p>                          |

|           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|           | <p>を設定。令和5～9年度で計4,021人。</p> <p>【最新値】164人/日</p> <p>※<math>R7:3\text{件} \times 50\text{m}^2 = 150\text{m}^2</math> <math>150\text{m}^2 \div 1000\text{m}^2 = 0.15</math></p> <p>人口40万人未満：<math>1,100 - 30 \times 0.15(S) = 1,095.5</math> (人/日/<math>\text{m}^2</math>)</p> <p><math>150\text{m}^2 \times 1,095.5</math> (人/日/<math>\text{m}^2</math>) <math>\div 1,000 = 164</math>人</p> <p>&lt;進捗状況&gt;</p> <p>令和5年度より中心市街地における活用事業補助金の補助率を上乗せしたところである。</p> <p>令和7年度の実績として、空き店舗バンクへの新規登録申請件数は16件。うち、6件が中心市街地エリア内であった。</p> <p>令和7年度に空き店舗バンクを活用して契約に至った件数は10件で、うち4件が中心市街地エリア内の物件であった。</p> |
| 事業の今後について | <p>さらなる市内商工業の発展を図るため、引き続き、令和5年度から実施した中心市街地エリア内の空き店舗家賃補助及び改装費補助の上乗せ分を実施していくほか、令和6年度から開始した「中心市街地リノベーション補助金」や「中心市街地新築等事業補助金」活用することで、目標を達成していく。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

### ●目標達成の見通し及び今後の対策

【指標3】：自転車・歩行者通行量（平日・休日の平均）

主要事業の多くがこれからの事業であるものの、引き続き基準値を上回る結果となっており、各事業の成果が一定程度現れている。通行量の底上げにつながる新複合施設建設事業が中断しているものの、チャレンジショップ事業の実施やイベント実施団体数の増加など、通行量の増加につながる環境が醸成されつつあることから、引き続き状況を注視しながら、目標達成に向けた環境促進を実施していく。